

千葉県少年サッカー選手権 3 年生大会 8 人制移行についてお知らせ

1. 趣 旨 財団法人 日本サッカー協会は、小学生年代の多くのプレーヤーが無理なく移動しゲームが行われるように、市町村や地区を基本とする生活圏内において年間を通じてこの年代に適したプレー機会（ボールタッチ回数やゴール前の攻防の多い 8 人制などの少人数ゲーム）が提供される様、「Players First」を念頭におき日常のゲーム環境の整備に努めることを主旨に「リーグ戦の推進と競技会の整備」を推進しています。

県 4 種委員会はこうした背景をもとに、リーグ戦文化の醸成および少人数サッカー（8 人制）推進についての対応を競技部会で検討してきました。その結果、2 月の競技部会において 3 年生大会を 11 人制からリーグ戦を導入した 8 人制に移行することに決定しました。また、大会要項などの骨子は 5 月 2 2 日開催の競技部会で諮り、実施要項を決定しましたので、取り急ぎ下記の通りお知らせします。

なお、「Players First」の理念を尊重し選手の自己判断力を養うため、指導者による指示等は極力避けること、審判を一人制とすることを付け加えておきます。

2. 大会名 千葉県ケーブルテレビ杯千葉県少年サッカー選手権 3 年生大会 Presented By 四谷大塚
3. 主 催 社団法人千葉県サッカー協会・第 4 種委員会
4. 主 管 社団法人千葉県サッカー協会第 4 種委員会第 1 ブロック
5. 特別協賛 千葉県ケーブルテレビ協議会 四谷大塚
6. 期日/会場

- (1) ブロックリーグ 長距離移動をなくした生活圏レベルでのリーグ戦を、6 月から 8 月末までに実施し、県中央大会に進出する代表チーム決める。（ブロックあるいは郡市単位のリーグ戦を行う。）
(2) 県中央大会 （ブロック代表チームは 72 チームとする。）
（5 月末現在の 3 年生以下登録人数により、ブロック代表枠の割り当てを決める。）
① 1 次リーグ（10 月 17 日 各ブロック 1～2 会場）
ブロック代表 72 チームによる 3 チーム、24 リーグ（12 会場）
② 2 次リーグ（10 月 24 日）
1 次リーグ 1 位チーム 24 チームによる 3 チーム、8 リーグ（4 会場）
③ 決勝トーナメント（10 月 31 日 （主管ブロック 1 会場）
2 次リーグ 1 位、8 チームによる準々、準決勝戦
④ 決勝戦、3 位決定戦（11 月 7 日 明海球技場）

7. 参加資格

- (1) 千葉県サッカー協会に登録済みのチーム、選手で構成された 3 年生以下のチームであること。
(2) 下級生のみで構成されたチームは認められない。
(3) 3 年生が 9 名を超えるチームは複数チームのエントリーも可とするが、エントリー終了後の選手の入れ替えは認めない。
(4) スポーツ障害保険に加入し、保護者の承諾を得ていること。
(5) 公認審判員 1 名を帯同するチームであること。

8. チーム構成とエントリー

- (1) チームの構成は指導者 3 名以内、選手 8 名以上 20 名以内であること。

- (2) 予選リーグのエントリー追加・変更はリーグ戦期間中 4 名まで認める。また、県中央大会に出場するチームのエントリーは予選リーグ最終登録メンバーとし、エントリー追加・変更は県中央大会自チームの最初の試合開始 30 分前までに 4 名まで認める。

9. 参加費

- (1) ブロック予選については各ブロックにより個別対応とする。
(2) 中央大会進出チームは 5 0 0 0 円を徴収

10. 競技規則

大会実施年度の（財）日本サッカー協会の競技規則及び、小学生年代の選手のための 8 人制サッカーのルールによる。但し、以下の項目については特に本大会規則として定める。

(1) 競技のフィールド

- ① 大きさ：68m×50m（大人のサッカー場の半分）を推奨するが、試合会場の大きさによって修正しても良い。（概ね 68～60m × 50～40m）
- ② ペナルティエリア等：
ペナルティエリア = 12m
：ペナルティマーク = 8m
：ペナルティアークの半径 = 7m
：ゴールエリアの縦 = 4m
：センターサークルの半径 = 7m
- ③ ゴール：5m×2.15m（少年サッカー用ゴール）
- ④ 交代ゾーン：自由な選手交代のため、ベンチ側のタッチラインのハーフウェーに 6m の交代ゾーンを設ける（ハーフウェーラインを挟んで 3m ずつ）。

(2) 試合球は検定 4 号縫いボールとする（両チーム持ち寄り）

(3) 試合時間は 30 分間（前・後半各 15 分間、ハーフタイムは 5 分とする）

(4) 競技者の数

- ① 8 人（内一人はゴールキーパー）を基本とする。試合は 6 人以上で成立する。
② エントリーは 20 名以内、自由な交代を適用する。（一度退いた競技者が再び出場でき、何回でも交代可能とする。）**エントリーされた選手全員が少なくとも 1 回は試合に出ることを推奨する。**

③ 交代の手続き

- (1) 交代して退く競技者は、交代ゾーンからフィールド外に出る。
(2) 交代要員は、交代ゾーンからフィールドに入り、競技者となる。
(3) 交代は、ボールがインプレー中、アウトプレー中にかかわらず行うことができる。
(4) 交代について、主審、補助審判の承認を得る必要はない。

④ 競技者が退場を命じられた場合は、そのチームはエントリーされた選手の中から競技者を補充することができる。

(5) 競技者の用具

- ① 試合用ユニフォームは正副 2 着用意すること。（シャツ、パンツ、ストッキング）
② ビブス着用は不可。
③ スパイクは固定式とする。すね当ては必ず着用すること。
④ 試合開始前に競技者および交代要員の用具が主審または補助審判によって検査される。
⑤ 眼鏡については、主審が安全であると判断したものは着用できる。

(6) 審判

- ① 試合は一人の主審によって運営される。

主審は、フェアプレー精神あふれる行動やリスペクトある行動を取った競技者にグリーンカードを示す。

- ② 審判は、登録審判員で審判服、ワッペンを必ず着用し、審判証を携帯すること。
- ③ リーグ戦は両チームが、主審及び、補助審判を行う。但し、奇数試合の審判は偶数試合の両チームが前の試合を、偶数試合は奇数試合の両チームが後審判で、両チームがそれぞれ行うことを基本とする。
- ④ 審判は、審判報告書を会場責任者に提出すること。
- ⑤ 決勝トーナメントの審判は主管ブロックで行う。

(7) 補助審判

- ① 試合には補助審判 1 名が指名される。
- ② 補助審判の任務は次のとおりとする。
 - (1) 主審によって要請された試合前、中、後、の管理上の任務を援助する。
 - (2) ボールの交換を管理する。
 - (3) 交代の手続き円滑に行われるよう、主審を援助する。
 - (4) チーム、競技者が試合中にフェアプレー精神あふれる行動やリスペクトある行動を取っていたのを見た場合、主審に知らせ主審がグリーンカードを示す援助する。
 - (5) 警告する競技者の特定を間違えて別の競技者が警告された場合や、2 つ目の警告が与えられたにもかかわらずその競技者が退場させられない場合、また主審の見えていないところで乱暴な行為が起きた場合には、主審に合図する。

1 1. 運営方法

- (1) ブロック予選リーグは 8 月末までに終えること。
- (2) チームは千葉県公認審判員 1 名を帯同すること。審判員のいないチームは試合参加を認めない。
- (3) リーグ戦は勝ち点方式とする。〈勝ち＝3 点、引き分け＝1 点、負け＝0 点〉
勝ち点と同じ場合は得失点差、総得点、直接対戦成績の順とし、それでも決しない場合は 3 人による PK 戦方式で決定する。
- (4) 決勝トーナメントの引き分けは PK 戦方式で決定する。決勝戦のみ延長戦（5 分－5 分）を行い、それでも決しない場合は 3 人による PK 戦方式で決定する。
- (5) ベンチに入ることができるのは、エントリーされた選手 20 名以内、指導者 3 名以内とし、試合前の練習もエントリーされた 20 名以内の選手と指導者 3 名とする。
- (6) 試合開始 30 分前までにメンバー表を提出し、エントリー表との照合、選手証による出場選手の確認を行うこと。（エントリー追加・変更届けの控えは試合ごと持参すること。）
- (7) 会場へは公共交通機関を利用して下さい。やむを得ず車の場合は 1 チーム 5 台以内とし、車のフロントにチーム名、番号（1～5）を明記しておくこと。尚、大型バス、マイクロバスで会場に行く場合は、必ず会場責任者に連絡してください。
- (8) ケガについては、応急処置をしますが、その後は各チーム責任において処置して下さい。
- (9) 会場内は禁煙です。喫煙場所が指定されている場合はそれにしたがうこと。また、会場に絶対に迷惑をかけないように、ゴミ等は必ず持ち帰り下さい。

1 2. 参加申し込み方法

- (1) 平成 22 年 5 月 31 日までにブロックごと、ブロック長に参加申し込みをする。
（ブロック長については登録チームに配布済みのサッカーハンドブック 2010 を参照して下さい。）

以上